

令和3年度 事業報告書

(第11期)

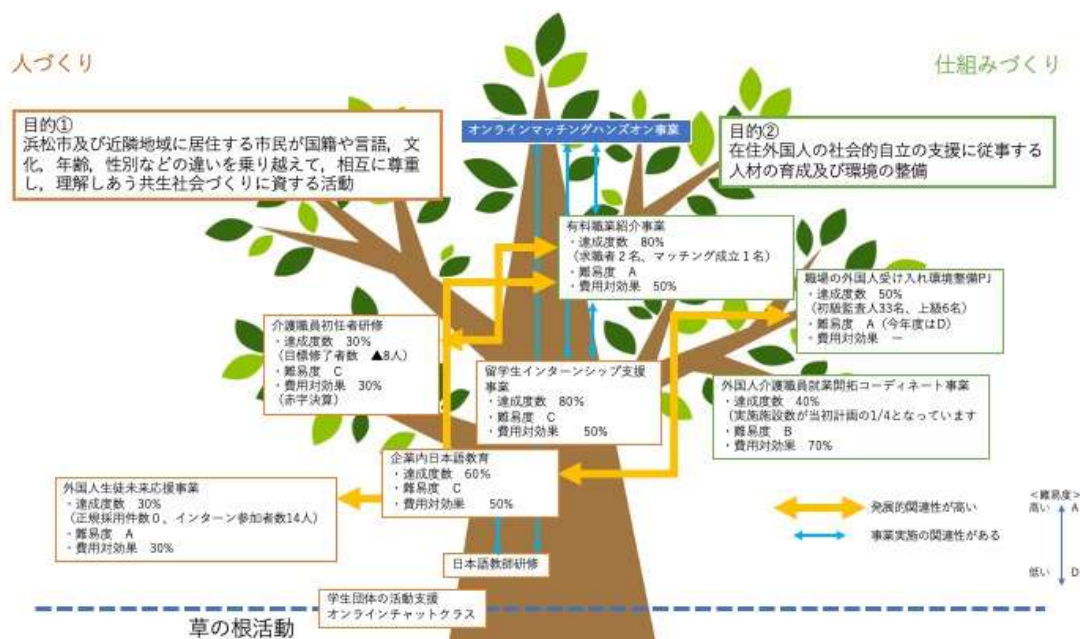
一般社団法人グローバル人財サポート浜松

令和4年6月16日

はじめに

新型コロナウイルス感染拡大の影響がある中でも、外国人労働者の数は依然増加傾向にあり、現在その数は170万人を超えており、過去最高となっている。当法人としては、日本で働き、定住する外国人を含む多様な人々を「地域の財産」として捉え、定住外国人向けの支援だけでなく来日を希望している外国人への支援体制を整える準備を始めている。また、「ビジネスと人権」やSDGsの推進に向けて、外国人労働者の受け入れに関し、国際社会からの日本に対する評価に高い関心が寄せられていることや、2023年に施行されるドイツにおけるサプライヤーチェーン法など、日本では外国人を雇用する上で職場環境の整備は喫緊の課題となっている。こうした社会背景からも日本が世界から「選ばれる国」になるよう、これまでの知見と経験を生かして、職場の外国人受け入れ環境整備プロジェクトを当法人の事業化とした。また、介護職員初任者研修の修了者の就労支援として優良職業紹介事業を始めたこと、事業再構築補助金を活用してオンラインマッチングサイトの開発をことも今年度の事業としては大きな注力事業となっている。

今年度は「人づくり」と「仕組みづくり」をテーマに、各事業を推進してきた。特に「外国人留学生インターンシップ支援事業」と外国人と企業のオンラインマッチングサイトの構築に向けた「地域中小企業のための外国人財獲得オンラインマッチングハンズオン支援事業」を重点項目事業として、実施した。各事業の関係性と達成度及び難易度を表したものが以下の図である。



在住外国人支援

① 介護職員初任者研修

在住外国人を対象にした介護職員初任者研修を開講した。

第1期 令和3年5月22日～令和3年

11月27日（全16回）

隔週土曜日 9:00～16:00、通信制

修了者 2名（二人とも就職）



② 日本語教育

① 企業向け日本語教室

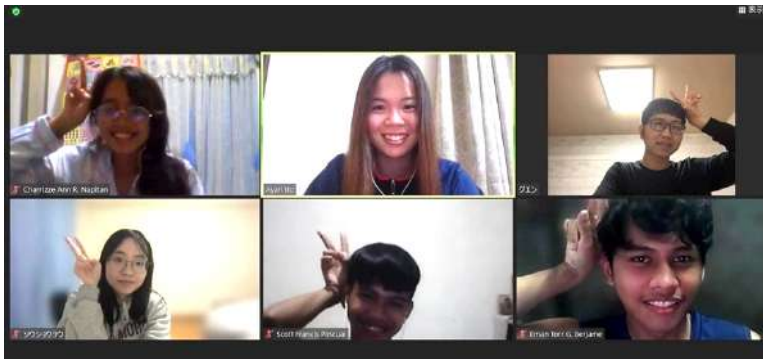
坂下製作所株式会社、平野ビニール工業株式会社、常盤工業株式会社にて従事している外国人労働者のための日本語教育を実施。今年度は新たに開発している日本語教材を活用し、短期でも確実に日本語能力を習得することができる工夫をし、授業を行なった。また、企業の要望で、日本語能力試験合格を目標に、テスト対策や文化理解も行なった。

- 株式会社坂下製作所 毎週月曜日 17:15～18:45 全3期（45回）
- 平野ビニール工業株式会社 毎週火曜日・金曜日 17:30～19:00 全3期（全75回）
- 常盤工業株式会社 隔週水曜日（全24回）

② オンライン日本語チャットクラス

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、来日できずにいる外国人技能実習候補生（フィリピン人）を対象に、静岡文化芸術大学や日本大学の学生有志が日本語を使って会話練習をする機会を提供した。外国人の日本語学習のサポートと来日のモチベーションを維持することを目的とする。

期間 令和3年4月～令和4年3月



③ 外国人介護職員就業開拓コーディネーター事業（静岡県介護保険課）

267 万円

県内の介護事業所を対象に、外国人の介護ワーカーを受け入れるにあたり不安に感じていたり、悩んでいたりとすることなどを解消することを目的にコーディネーターを派遣し、課題解決をしていく。また、外国人介護職員の受け入れにあたり、事業所の現場の職員や管理職を対象にした講習に講師を派遣して、出張出前講座を行った。新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、オンライン会議の活用で相談を行うことも可能とした。さらに、事業所向けのセミナーを開催した。

期間 令和3年10月29日から令和4年3月22日まで

対象 県内の介護事業所（介護職員派遣業者は除く）

内容 コーディネーター派遣、出前講座への講師派遣、オンライン会議相談

- ▶ 個別相談件数 11件（オンライン2件）
- ▶ 職員研修 4件（対面1件、オンライン3件）
- ▶ 外国人職員雇用セミナー 3回（いずれもオンラインで開催）
 - ・1月17日（月）13:30～16:30 参加者数8（うち介護施設3）



「ポストコロナを見据えた外国人材の受け入れ」

講師 高山 善文 ティーオーエス株式会社代表取締役

「受け入れ整備における具体的な取り組み方法」

講師 堀 永乃 一般社団法人グローバル人財サポート浜松代表理事



・2月17日（木）13:30～16:30 参加者数 15
（うち介護施設 11）

「現地レポート！世界の介護現場で活躍するフィリピン人」

講師 三浦 一生 ICHIGOICHELIE 代表

「受け入れ整備における具体的な取り組み方法」

講師 堀 永乃 一般社団法人グローバル人財サポート浜松代表理事

・2月24日（木）13:30～16:30 参加者数 20（うち介護施設 13）

「特定技能（介護）の制度について学ぶ」

講師 森河 宏 名古屋出入国在留管理局就労審査第二部門主席審査官

「多様な外国人が活躍する現場での実践について」

登壇者 施設長 小笠原昌之

特定技能<介護>ワーカー グエン・ティ・クエ・チ

事務局長 小田木敬昌

コーディネーター 堀 永乃 グローバル人財サポート浜松代表理事

④ 令和2年度新型コロナウイルスに負けない外国人生徒未来応援事業（静岡県多文化共生課）921万円

静岡県内にある外国人学校（ブラジル人学校高等部）6校に通う生徒を対象に、「日本語教育」「キャリア教育」「インターンシップ」を行うことにより、卒業後の正規雇用へつなげることを目的に実施した。就職が決まったのは、高校3年生が1名（農業）、他は全てアルバイトで1年生と2年生であった。



期間 令和3年6月1日から令和4年2月28日まで
 対象 ムンドデアレグリア校、イーエーエス浜松校、アウカンセ校、オブジェチャーボデイワチアホーザ校、ニッポブラジレイラ校、セスキクガワ校
 対象人数 240名

・具体的な内容

項目	時期	内容
●日本語教育	7月1日～1月31日	日本語での口頭能力を高めるためのカリキュラムの策定をし、生徒の日本語レベルは各学校の日本語教師により行われ、日本語レベル別の2クラス（初・中級）に分け、日本語教育を実施した。（ソヒゾ 44.5時間*2クラス（うち6時間学校都合キャンセル）、アウカンセ 42時間*2クラス（うち3時間学校都合キャンセル）、ニッポ 33時間*2クラス、EAS 48時間*2クラス、チアホーザ 48.5時間*2クラス（うち2.5時間学校都合キャンセル）、ムンド 16時間 ※キャンセル授業時間含む） また習得度についてテストを行い、評価をした。

<p>●キャリア教育</p>	<p>7月5日～ 12月20日</p>	<p>キャリア教育（10時間*5校、ムンドは8時間（最終回は学校都合によりキャンセル））を実施。</p> <p>1回2時間 全5回</p> <p>※ジョブカードやSPIを使用した自己理解を深める内容を盛り込んだ。</p> <p>※インターンシップの受け入れ可能な企業の講話も入れた。</p> <p>※特別講師を迎えた保護者と生徒向けの特別セミナー保護者会の際に実施した。</p>
<p>●インターンシップ</p>	<p>11月15日 ～1月20日</p>	<p>高3生（高2生も含む）を対象としたインターンシップを1人あたり3日間行った。</p> <p>※インターンシップ先は生徒の希望による</p> <p>受入れ企業の交渉、調整、依頼とインターンシップの体制整備を行った。</p>
<p>●その他</p>	<p>10月～2月</p> <p>7月～2月</p> <p>通年</p>	<p>本事業に係る企画調整・体制構築等を行い、事業遂行した。</p> <p>各学校や講師等の調整を行った。</p> <p>就職やアルバイト希望の学生に対して、保護者と学校と情報共有し、企業とのマッチングを行なった。</p>

	1月～2月	
--	-------	--

・インターンシップ参加者数

学校名	人 数
EAS	2人
チアホーザ（高校2年生）	4人
ソヒゾデクリアンサ	3人
ニッポブラジレイロ	5人
アウカンセ	0人
ムンドデアレグリア	0人



⑤ 外国籍児童生徒のためのオンライン教科学習支援

明光義塾を運営している株式会社明光ネットワークジャパンと協働し、公立小中学校に通う小学4年生～中学2年生を対象とした教科学習支援を行った。浜松市内の公立学校では児童生徒全員に一人一台のデバイスを提供していることから、オンラインを活用し、大学生が子どもたちのバディとなり夏休みの学習の振り返りやまとめを行った。明光ネットワークジャパンの事前講師研修や学校側からの教材提供により、大学生も児童・生徒も同じ教材を共有して学習支援ができた。

期間 令和3年8月16日～27日のうちのそれぞれ3日間

場所 浜松市立北星中学校、浜松市立葵西小学校

参加者数 北星中学校3名、葵西小学校11名、大学生6名（うちWISH3名）

協力 株式会社明光ネットワークジャパン、
三井物産株式会社



⑥ <重点項目事業>外国人留学生インターンシップ支援事業（浜松市補助金）33万円

浜松市内の中小企業事業者と外国人留学生をつなげ、留学生の雇用につながるようなセミナーやインターンシップを実施し、就労支援を行うというもの。

外国人留学生には無償でオンライン日本語教材（令和2年度開発したもの）を提供し、2日間のインターンシップにつながる企業交流会を開催した。企業交流会では、企業担当者と小さなグループに分かれアイデアソンを実施した。さらに、企業を対象に外国人雇用についての意識啓発を行うセミナーを静岡大学と連携して開催した。

期間 令和3年6月1日～令和4年2月28日

➤ イベント「留学生！カケル！！」

日時 令和3年8月23日（月）～24日（火）

参加大学生 20名

- 留学生 11名 静岡大学1名、静岡英和学院大学1名、日本大学1名、金沢大学1名、静岡理工科大学1名、中部コンピューター専門学校4名、名古屋専門学校1名、海外在住（留学経験者）1名
- 日本人学生（バディ）9名 日本大学4名、静岡大学2名、常葉大学1名、三重大学1名、静岡文化芸術大学1名

➤ セミナー

日時 令和4年2月1日（火）13:00～16:30



参加者 152名

実施方法 オンライン

【プログラム】

12:30 開場

13:00 開会・挨拶

静岡大学 理事(研究・社会産学連携・情報担当) 副学長 川田 善正

・第一部 「留学生インターンシップ支援事業」企業向けセミナー

13:05～13:30 事業報告(留学生!カケル!)

13:30～14:30 トークセッション1

「グローバル人材活用の新たな視点とネクストステージ」

登壇者: 浜松市長 鈴木 康友

シンクタンク・ソフィアバンク代

表 藤沢 久美

14:30～14:45

・第二部 「スタートアップ・エコシステム形成支援」アントレプレナーセミナー

14:45～16:15 トークセッション2

「グローバル人材と地域リソースによるスタートアップのあり方とは」

モデレーター: シンクタンク・ソフィアバンク 代表 藤沢 久美

登壇者: 静岡大学イノベーション社会連携推進機構 副機構長 木村 雅和

浜松医科大学 理事(教育・産学連携担当) 副学長 山本 清二

浜松市 産業部次長 スタートアップ推進課長 江馬 正信

スズキ株式会社 経営企画室 コネクテッドセンター 本部長 熊瀧 潤也

コメンテーター: 日本総合研究所リサーチ・コンサルティング部門
プリンシパル 東 博暢

16:15～16:30 質疑応答

16:30 閉会

協力 静岡大学、株式会社日本アジア人材研究所、浜松医科大学、



⑦ <重点項目事業>地域中小企業のための外国人財獲得オンラインマッチング
グハンズオン支援事業（中小企業庁補助金）867万円

コロナ禍を契機とした経済社会の変化で新たに発生した喫緊の地域ニーズである
中小企業の外国人財確保の課題に即座に対応するため、①ITを活用した外国人財
と地域中小企業のオンライン・マッチング、②個社・個人に対するハンズオン支
援のプラットフォームを構築していく。

期間 令和3年11月1日～令和4年8月17日

次世代育成事業

1. 学生ボランティアセンター事業（学生 FRESH 事業）

学生ボランティアセンターでは、浜松市内で社会貢献活動に励む大学生のボランティア団体を対象に、学生個人の知識や団体の質の向上を目指し、より良い浜松の未来のためにネットワークを構築し、課題や情報の共有を図った。特に今年度は各団体の活動状況を調査し、リソースとしていくことに注力した。静岡大学、静岡文化芸術大学、浜松学院大学、聖隷クリストファー大学、静岡産業大学の学生団体が参加。年 5 回の会議とフォーラムを実施。

その学生ボランティアセンターの運営に携わる学生団体 **FRESH** の顧問として代表理事が携わるほか、当法人が学生 **FRESH** の活動支援を行った。

学生ボランティアフォーラム 令和 4 年 2 月 13 日（日）13:00～17:00

協力 株式会社知久

2. 学生団体支援事業

① Wide International Support In Hamamatsu (WISH)

当法人は、WISH の外国につながる子どもたちが小学校への入学に適應するよう学校模擬体験を行う外国籍児童就学前学校体験教室「ぴよぴよクラス」と就学後に小学校の授業に入り込み子どもたちの学校生活の支援を行う「SAT」を実施している学生団体（静岡文化芸術大学の学生中心）の活動を指導・支援している。しかしながら、この 2 年間、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、いずれの活動も実施ができなかった。こうしたことから、令和 3 年度は夏休みに実施するオンライン学習支援の活動を汎用して、春休みに同様の事業を実施し、学習支援を行おうとしたが、教育委員会より春休み期間中のデバイスの使用不許可の通達が各学校に告示されたことから、実施は叶わなかった。

② HANDs

浜松から鍵盤ハーモニカをダバオ市の学校に寄贈し、音楽交流を深めるプログラムを実施。HANDs は浜松市内の大学に通う主に静岡文化芸術大学の学生たちによって構成。鍵盤ハーモニカの収集、音楽交流プログラムを企画運営するだけでなく、実際にダバオ市を訪問し、フィリピン文化を体感することを目的としてフィリピン研修を行うことや学校間の音楽交流ができるようインターネットを活用して、両都市の学校をつなぎ、演奏交流会を開催し、帰国後は写真展を開催し、事業報告を行うプロジェクトを実施する団体である。今年度は昨年度に引き続き、ブラジル人学校への寄贈により活動を継続したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、イーエーエス浜松校のみに寄贈した。

イーエーエス浜松 令和4年3月11日（金）



3. 日本語教師研修

日本語教師を志している人や日本語教師<初任>の人を対象に、「ナラティブで学ぶ日本語 160 時間」生活者から労働者まで在留資格を問わず日本語教育を行うことのできる人材を育成するための研修を行い、企業内日本語教室や海外での日本語教育に携わることのできる人材を輩出していくことを目的とした。マスターテキストアプローチの手法について、その概論と実践紹介を学ぶ機会を提供した。

期 間 令和3年5月19日～5月29日 13:30～16:30 全2回

講 師 西口光一（大阪大学教授）、澤田幸子（おおぞら日本語サポート）
榎原智子（吹田市国際交流協会）、堀 永乃

その他、事業

1. 視察受け入れ・講師派遣事業

専門機関の調査研究や大学院生の研究等のために当法人の事業視察受け入れやインタビューを引き受けた。講師派遣はエイチアールが受諾し、その庶務対応等を社団が行う流れで実施した。

講師派遣実績：静岡大学、三重大学、厚生労働省外国人雇用対策課、北海道国際交流協力総合センター

ヒアリング実績：武蔵野大学、文化庁、ヒューマン・ライツ・ウォッチ

寄稿実績：総務省自治行政局国際室

2. 有料職業紹介事業

介護職員初任者研修受講者や修了者を対象に職業紹介事業を始めた。また、ブラジル人学校生徒や外国人留学生など、対象枠を広げて活動ができるよう基盤整備に努めた。結果、今年度は1名が介護人材として採用され、実績を作ることができた。

3. 職場の外国人受け入れ環境整備プロジェクト

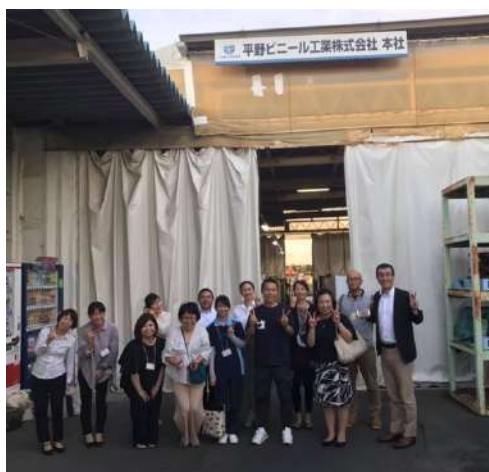
外国人を雇用している企業を対象に、優良企業認定の仕組みで評価を行うプロジェクトを実施。また、外国人雇用に関する専門的な知識を有する人材として初級・上級監査人の育成を行なった。これまで教材の開発や育成プログラムを田村太郎氏（ダイバーシティ研究所代表理事）、中村千穂氏（中村千穂社会保険労務士事務所）、堀西雅亮氏とともに事業運営を行なってきたが、企業向けの営業を行うにつれて、事業の運営が円滑に進まなかったことから、3月末にて当法人の事業として移管した。

初級監査人研修 随時、令和3年度 33名が監査人登録

上級監査人研修 令和3年10月1日
(金)～2日(土)

講師：鈴木まりこ、田村太郎、中村千穂、堀永乃

参加者：6名(修了者)



4. その他

① 情報提供事業

ホームページや Facebook を活用して、当法人の活動に関する様々な情報を提供し、雑誌や新聞の取材を受入れ、活動の意義や社会的課題を発信した。また、積極的に SNS での広報を行なう。

② 浜松ダバオ友好協会

これから受け入れを始めようとしているフィリピン出身の外国人材にとって、浜松市がより魅力的な街であるように、浜松ダバオ友好協会の運営に参画したが、新型コロナウイルスの影響のため、活動が休止された。

③ 書籍の販売

介護職員初任者研修受講者へ「介護のしごと」や外国人技能実習生や特定技能の外国人向けに「みんなの介護」を紹介。また、「日本語160時間」など日本語教育の教材の販売促進に協力した。